

◆好調カテゴリ別 金額市場規模前年比一覽

主食		
主食計では、前年比98.7%と前年を下回ったものの、カテゴリによって、外出自粛による内食需要の増加の影響を受け、前年比110%を超えるなど好調。「シリアル類」: お笑い芸人が題材として取り上げたことで注目を集めたコーンタイプの商品や、健康・美容によいとされているオートミールが好調。「乾麺」: 8月は平年より気温が高い日が多く、そばやそうめんが特に好調。「プレミックス」: 前月ほどの勢いは見られないものの、パンケーキ・ピザ・たこ焼きなどの需要が底堅い。		
カテゴリ	金額前年比 2020年8月	前月差 2020年8月
主食 TOTAL	98.7	-0.4
米	106.5	2.5
米飯類	105.0	-1.7
食パン		
菓子パン・調理パン		
シリアル類	121.5	10.6
袋インスタント麺	108.6	-12.9
カップインスタント麺		
乾麺	119.2	18.7
生麺・ゆで麺	108.0	5.0
スパゲティ	108.9	-1.7
マカロニ類	109.5	1.0
小麦粉	102.5	-2.8
てんぷら粉	104.2	1.4
唐揚げ粉	102.6	-1.1
パン粉		
プレミックス	113.3	-12.6

調味料		
前年比106.1%と前年を上回っており、好調を維持。「シロップ類、蜂蜜、エッセンス類」: 家庭内で菓子やケーキ等を子供たちと一緒に手作りするといった需要は依然として堅調。シロップ類は、前月差15.9ポイントと大きく伸びており、平年よりも気温が高かったため、かき氷用のものがとりわけ好調だった。「低カロリー甘味料」: シュガーレスやオリゴ糖ベースのものが好調で、健康志向が高まっているためと推察される。「香辛料」: ラー油やにんにくが好調。内食機会が増加する中、料理の味付けに変化を付けようと、需要が高まっていると考えられる。「ゴマ油」: 容量が大きいペットボトルタイプの商品が好調。容量当たりの単価が低く“お得感”があることに加えて、健康効果も着目され人気となっていると考えられる。		
カテゴリ	金額前年比 2020年8月	前月差 2020年8月
調味料 TOTAL	106.1	0.6
醤油	104.3	0.4
味噌		
食塩		
料理酒	112.4	3.0
砂糖	101.0	6.3
低カロリー甘味料	112.3	7.3
シロップ類	115.5	15.9
蜂蜜	124.0	2.8
ソース	101.8	-4.1
ケチャップ	110.0	-0.2
マヨネーズ	102.3	-4.5
ドレッシング	105.0	2.6
香辛料	114.2	3.0
エッセンス類	119.8	-5.8
焼肉シャブシャブのタレ	101.0	-4.4
食酢	105.6	8.2
ぼん酢	103.9	3.9
本みりん	105.9	2.2
みりん風調味料		
風味調味料	102.3	-3.7
削り節		
煮干し	100.7	-1.7
わかめ・こんぶ類		
つゆ・煮物料理の素	108.4	8.1
サラダ油・天ぷら油	105.1	-0.5
ゴマ油	123.0	3.4
バター	112.7	-6.1
マーガリン類		
チーズ	107.0	-1.4
ジャム・ママレード	106.2	2.1

※網掛け
前年比 105%超:

加工食品①		
多くのカテゴリで前年を上回り好調を維持。「お茶漬の素」: 内食需要が増加するなか、手軽に使用できるため人気となっていると考えられる。のりやわさび風味のものが好調。「パスタソース」: 内食需要に支えられ、ペペロンチーノやトマトソースタイプのものが好調。「冷凍水産」: シーフードミックス・エビ・貝類などが好調。パスタやピラフなどの料理での需要が堅調だと推察される。「冷凍農産」: ほうれんそうやブロッコリーなどの野菜が好調。長梅雨等により生鮮野菜の収穫減・価格高騰の影響で、比較的価格変動が少ない冷凍農産が人気となった面もあると見て取れる。		
カテゴリ	金額前年比 2020年8月	前月差 2020年8月
加工食品① TOTAL	107.4	1.1
春雨・くず切り	109.2	-0.3
こうや豆腐		
海苔	106.7	-1.7
ふりかけ	100.0	5.7
お茶漬の素	113.7	1.2
まぜご飯の素	103.1	-3.6
カレー	103.8	-0.3
シチュー		
パスタソース	110.4	-2.9
シチューベース	108.2	-6.1
メニュー専用料理の素	105.9	1.6
スープ類	101.3	-4.0
味噌汁・吸物類	102.0	-5.1
調理用スープ	109.1	-4.6
冷凍水産	133.2	-5.0
冷凍農産	123.5	5.0
冷凍調理	109.6	4.4

加工食品②		
前月よりもわずかに伸長し、前年比106.8%と前年を上回った。「野菜缶詰」: トマト缶が好調。冷凍農産と同様に、生鮮野菜価格の高騰により、生鮮野菜の代替としての需要も伸長したと考えられる。「フルーツ缶詰」: 前月よりも大きく伸長。簡便に準備できることから、デザート需要で人気となっていると見て取れる。「畜肉缶詰」: 焼鳥やスラムが好調。外出自粛により家でお酒を飲むことが増えたことで、おつまみとしての需要も伸びていると推察。「パウチ入り食材」: 内食需要としてカットマトのパウチ商品や、デザート需要としてフルーツのカップ商品が好調。「洋風食品」: 簡便に準備できることから、ハンバーグやポテトサラダなどの商品が人気。		
カテゴリ	金額前年比 2020年8月	前月差 2020年8月
加工食品② TOTAL	106.8	0.3
魚介類缶詰		
野菜缶詰	116.3	4.4
フルーツ缶詰	131.6	20.1
畜肉缶詰	120.1	1.7
パウチ入り食材	114.6	3.3
和風食品	105.4	3.8
洋風食品	110.1	0.6
中華風食品	109.4	-0.3
畜肉ハム	105.3	-0.3
畜肉ソーセージ	103.9	-1.4
魚肉ソーセージ		
焼豚	108.1	-6.7
ベーコン	109.2	-3.1

加工食品③		
練り物をはじめ、和風のおかず系も前年比103.9%と前年を上回った。内食需要によるメニュー拡張の一環かと考えられる。「ちくわ、はんぺん」: 内食での和風料理用の食材として、需要が堅調なものとして取れる。		
カテゴリ	金額前年比 2020年8月	前月差 2020年8月
加工食品③ TOTAL	103.9	1.3
かまぼこ	103.9	-0.9
ちくわ	107.9	-0.9
はんぺん	108.9	-0.8
揚げ物	100.7	-2.9
納豆	104.9	1.1
煮豆	101.4	0.9
佃煮	100.7	0.1
もずく・めかぶ	100.7	6.2
豆腐類	104.7	3.7

菓子		
前年比96.5%と前年を下回った。外出自粛の影響により、キャンディやチューインガムの不調が継続。「玩具メーカー菓子」: ウェハースタイプの、人気TVアニメのキャラクター商品の好調が、5月以降続いている。「栄養バランス食品」: 新型コロナウイルスの影響で、健康意識が高まるなか、たんぱく質を多く含む健康効果が注目されている“プロテインバー”が好調。		
カテゴリ	金額前年比 2020年8月	前月差 2020年8月
菓子 TOTAL	96.5	-3.0
チョコレート		
キャラメル		
キャンディ		
チューインガム		
ビスケット&クラッカー	101.3	-3.2
スナック		
煎餅・あられ		
玩具メーカー菓子	170.3	-6.1
栄養バランス食品	106.5	-0.2

嗜好品		
前月よりも大きく伸長し、前年比109.8%と前年を上回った。「アイスクリーム」: 平年よりも気温が高かったため、大幅に伸長。「ホイップクリーム」: 前月ほどの勢いはないものの、手作り菓子需要により、前年を大きく上回る。「紅茶」: 外出自粛に伴う内食需要の増加の影響を受け、好調を維持。平年よりも気温が高かった影響もあり、水だしタイプが人気。「中国茶」: 杜仲茶が好調。ダイエット効果がメディアで取り上げられたことを契機として、健康への効果が注目されたためと考えられる。		
カテゴリ	金額前年比 2020年8月	前月差 2020年8月
嗜好品 TOTAL	109.8	14.3
アイスクリーム	112.8	21.4
デザート類	103.2	5.8
ペーパード		
インスタントクリーム		
フレッシュクリーム		
ホイップクリーム	124.2	-4.3
インスタントコーヒー	103.8	-2.0
レギュラーコーヒー	108.5	-4.0
紅茶	111.3	1.4
ココア	102.5	2.7
日本茶	105.8	3.4
麦茶	108.9	12.4
中国茶	159.3	47.7

飲料		
気温が高かった影響で前月よりも伸長し、前年比102.3%と前年を上回った。「サイダー」: レモンフレーバーのリニューアル品や、無糖タイプの商品が好調。「美容・健康ドリンク」: 気温が高かった影響で、熱中症予防に効果があるとされる経口補水液が好調。「ミネラルウォーター類」: プレゼンウォーターは、2Lペットボトル、炭酸水は1Lペットボトルのものがとりわけ好調で、家庭での需要が伸長しているものと見て取れる。		
カテゴリ	金額前年比 2020年8月	前月差 2020年8月
飲料 TOTAL	102.3	7.9
牛乳	103.8	1.6
ヨーグルト	104.4	2.7
乳酸菌飲料	101.6	2.3
豆乳	101.7	6.0
100%ジュース		
果汁飲料		
トマトジュース	102.1	9.3
野菜ジュース	104.7	7.5
コーラ		
サイダー	117.3	13.3
炭酸飲料	103.9	13.9
コーヒードリンク		
紅茶ドリンク		
液体茶		
スポーツドリンク	104.6	25.0
美容・健康ドリンク	105.4	19.2
栄養ドリンク		
ミネラルウォーター類	119.2	17.8
乳酸飲料	102.6	15.2

アルコール		
前月よりもわずかに伸長し、前年比101.7%と前年を上回った。「ウイスキー」: スコッチタイプが好調。“ハイボール”として、炭酸水で割って飲用する需要も堅調だと推察される。		
カテゴリ	金額前年比 2020年8月	前月差 2020年8月
アルコール TOTAL	101.7	1.9
ビール		
ウイスキー	109.0	-1.3
ワイン	104.1	-1.5
日本酒		
焼酎	100.5	0.7

日用雑貨		
前月よりも伸長し、前年比108.3%と前年を上回った。新型コロナウイルスの影響による需要増は、4・5月の緊急事態宣言時と比べると落ち着きを取り戻しつつあるものの、クリーナー・洗剤等の特定カテゴリでは依然として好調が継続。「殺虫剤」: ダニ用やコバエ用が好調。平年よりも気温が高かったことも需要をけん引したものと考えられる。「ぬれティッシュ」: “除菌、抗菌”等の機能を訴求する商品が人気となっており、手拭き用だけではなく、家庭内の清掃の用途でも需要が伸びているものと推察される。		
カテゴリ	金額前年比 2020年8月	前月差 2020年8月
日用雑貨 TOTAL	108.3	3.2
歯ブラシ		
歯磨き	104.4	4.7
マウスウォッシュ	110.3	10.8
義歯用剤		
洗濯用洗剤		
中性洗剤		
漂白剤	106.9	6.9
柔軟剤	108.7	6.3
台所用洗剤	116.2	4.9
住居用クリーナー	127.7	0.2
トイレ用クリーナー	108.4	-0.2
バスクリーナー	115.6	1.9
パイプクリーナー	114.3	-0.1
家庭用手袋	119.0	0.4
化学雑巾	113.7	-3.4
たわし・スポンジ	105.4	-0.3
水切り袋	111.2	1.9
殺虫剤	126.3	20.8
防虫剤	108.4	7.3
カビ防止剤	117.2	2.0
芳香・消臭剤	120.2	1.8
トイレタンク用洗浄芳香剤		
除湿剤	118.7	-0.9
ラッピングフィルム	102.4	-0.1
アルミホイル	104.3	-1.2
食品包装用品	113.0	-2.4
アルミガスマット	109.7	-0.3
ティッシュペーパー		
トイレトイレットペーパー		
ペーパータオル	110.9	-0.3
ぬれティッシュ	158.0	-23.4
使い捨て紙クリーナー	121.3	-4.2
紙おむつ		
大人紙おむつ	100.4	-1.0
生理用品		
絆創膏	100.7	3.0
使い捨てカイロ		
綿棒	101.8	1.7

ペット		
前月よりも伸長し、前年比104.1%と前年を上回った。「キャットフード」: 離乳期・幼年期向けの商品が伸びており、外出自粛のなか、家でできる趣味として、新たに猫を始めた人が増えた影響と考えられる。また、ダイエット訴求の商品が好調で、ペットの健康への関心の高さが見て取れる。「ペット用品」: 猫のほか、昆虫・魚類向けの商品が伸びており、外出自粛のなか、新しく買い始めた人が増えた影響と考えられる。		
カテゴリ	金額前年比 2020年8月	前月差 2020年8月
ペットカテゴリ TOTAL	104.1	1.5
ドッグフード	100.6	2.0
キャットフード	105.1	-0.4
ペット用品	106.7	3.2

石鹸・ヘアケア		
前月よりも伸長し、前年比105.8%と前年を上回った。「石鹸」: 新型コロナウイルス予防対策として、殺菌・消毒効果を訴求するハンドソープ、抗菌・除菌効果を訴求するハンドジェルが好調。「入浴剤」: 疲労回復や香りなどの効能を訴求する入浴剤・バスソルトが好調。新型コロナウイルスの影響で外出自粛が続くなか、体調管理やリラクスのための需要が高まっていると考えられる。「ヘアトリートメント」: カラーケア・うねりケア・ダメージケアが好調。外出自粛に伴い、家庭でのメンテナンス需要が堅調。		
カテゴリ	金額前年比 2020年8月	前月差 2020年8月
石鹸・ヘアケア TOTAL	105.8	3.9
石鹸	130.4	-5.3
入浴剤	119.5	6.8
シャンプー		
ヘアリンス	100.9	3.9
ヘアトリートメント	107.6	-0.1
アウトバスヘアケア		
ヘアカラー		
育毛トニック	100.5	-0.7
制汗剤		

化粧品		
4・5月の緊急事態宣言の期間よりは、落ち込み幅は小さいものの、依然として前年割れが続いている。新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、マスクを着用することが日常化しており、マスクで覆われる口紅がとりわけ落ち込んでいる。「洗顔クリーム」: にきび予防を訴求する商品が好調で、外出機会が限られるなかでも、肌の手入れに気を配っていると考えられる。マスクの着用による、にきび等の肌荒れ対策としての需要も堅調。		
カテゴリ	金額前年比 2020年8月	前月差 2020年8月
化粧品 TOTAL	83.3	-2.1
クレンジング		
洗顔クリーム	101.9	-0.8
化粧水		
乳液		
栄養クリーム		
パック		
美容液		
化粧下地		
ファンデーション		
おしろい		
口紅		
眉目料		
マニキュア		

医薬品		
新型コロナウイルスの影響により、特定の品目の伸びが目立つ。「マスク」: 新型コロナウイルス予防対策として需要が高まるなか、従来の夏場は、花粉症・風邪などのマスク需要も落ち込んでいる時期であることから、前年比は極めて高い。暑さ対策として、冷感素材を使用した夏用のマスクが伸長。「口腔用薬」: 前月よりも大幅に伸長し、前年比156.1%まで上昇。スプレータイプの商品が好調。大阪府を発端として、“うがい薬”の新型コロナウイルスへの効果が注目を集めた結果、“うがい薬”の欠品も起こり、代替として口腔用薬が人気となったと考えられる。「皮膚用薬」: 新型コロナウイルス予防対策として、手指消毒剤が引き続き大きく伸びている。		
カテゴリ	金額前年比 2020年8月	前月差 2020年8月
医薬品 TOTAL	124.3	3.4
コンタクト用剤		
マスク	1,687.3	271.8
ミニドリンク剤		
漢方薬	104.0	-5.8
総合感冒薬		
鼻炎治療剤	104.6	1.6
解熱鎮痛剤		
鎮咳去痰剤		
口腔用薬	156.1	77.5
胃腸薬		
整腸薬		
外用鎮痛消炎剤		
皮膚用薬	145.4	7.0
目薬		
健康食品	101.0	2.1

この資料は当該データの公開時点での集計であり、最新データと異なることがあります。利用は、原則貴社内のみとし、第三者への開示が必要な場合は、弊社が定める「パネルデータレポート第三者開示・利用基準」に従います。また、弊社に起因しない事由により生じた内容の瑕疵についての訂正・取替えに関する義務は負いかねます。